

GR50

1976年 / 市販車

GT50（ミニトレ）のロードスポーツバイク版。前後14インチのタイヤに、低く構えたコンチネンタルハンドル、大容量の角型燃料タンク、シートストッパー付きのシングルシート、そしてゼッケンプレート風のシートカウルなど、本格的なレーシングマシンを思わせるスタイルは、このクラスでは唯一のコンパクトカフェレーサースタイルとして、従来のミニバイクとは一線を画すモデルとして市場に送り出された。エンジンはGT50と同じく、空冷2ストローク単気筒50ccエンジンを搭載。ピストンリードバルブ吸気のトルクインダクション機構を採用しており、コンパクトな車体ながらも軽快でスポーティーな走りを実現。トランスミッションは5速リターン式を採用し、スポーツ走行を楽しめる本格的な仕様となっている。

1972 - GT50

